

役員所感

専務理事 竹田 敏一

愛する郷土の未来を強く信じ、暗闇を照らす光となるべく青年会議所が誕生し来年で半世紀を迎えます。時代がもたらす困難に、創始の志をもって挑んできた諸先輩の功績を念頭に、今我々が次の世代のためにも覚悟をもって新しい希望となり、時代を創造する責任があります。会員全員がいまに感謝しながら心一つにし、「人生最善の仕事」である社会奉仕に礼を尽くし、社会から負託と信頼を得られる組織へと昇華しなければなりません。

来年に節目を迎えるこの組織の重要な役職を引き受けるにあたり、いまに感謝し心一つにする次世代を育み、今後に持続可能かつ発展性のある組織の構築を目指し、鋭意活動します。まずは、会員の育成と意識向上を図るため、諸会議、対外事業等の積極的な参加を促し、そこに「気付き」を得られる工夫を盛り込むことで、率先して行動することの喜びと感動を与え、自己を高める機会を創出します。また、より社会からの負託と信頼を得るため、コンプライアンスの強化を図り、公益法人としての責務である内部資料の精査と開示を徹底的に行うとともに、会員一人ひとりが自覚と誇りを持ち公に資する事業展開を構築できるよう組織を強化させます。また、長きに渡り先輩諸兄が創意工夫を重ね、上越の発展のためにご尽力されてきた当青年会議所が、過去の歴史を検証し今後の展望を明確にするため、グランドデザインアクションプランをもとに50周年のコンセプトを構築することで、半世紀という節目の準備に取り組みます。そして、来年がより気運の高まる一年とするため、次なる一步を踏み出す喜びと感動を意欲に、最高のシナリオを創出します。

連綿と続くこの青年会議所を永続的に発展継続させるため、我々同士が使命感と責任感を持って高みを目指し成長し続け、公に資する運動や活動を展開することで公益法人としての組織を確立し、愛する郷土の発展に寄与し「明るく豊かな社会の構築」を実現します。